

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・1月号・付録
2021年1月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可

〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F

NPO法人放送批評懇談会

TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510

ホームページ <https://houkon.jp/>

Eメール kondankai@houkon.jp

編集・川喜田尚

放送初オンラインセミナー 盛況終了

11月理事会報告

2020年11月26日、11月理事会をZoomミーティングにて開催した。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 鈴木委員長

・11月19日にZoomにて委員会を開催した。

・2月号特集は「やっぱり、ドラマは面白い」。2020年のドラマを振り返るとともに、2021年以降のドラマ界を占うようなトピックスで構成する。表紙は杉野遥亮さん、ザ・パーソンは小田嶋隆さん。

・3月号特集は「キャストティング新時代」(仮題)。テレビ・ラジオ・CMなどの最新キャストティング事情を考察する。表紙は土屋太鳳さん、ザ・パーソンは岸田奈美さん。
・4月号特集は東日本大震災の発

災から10年というタイミングをとらえて、この10年の間に放送メディアはどう変わったかという視点の企画を予定している。

◇選奨事業委員会

・11月17日正午に、第58回ギャラクシー賞上期選考結果を発表した。
(テレビ部門) 古川委員長

・10月31日にZoomにて月評会を開催した。月間賞には、NHKスペシャル「香港 激動の記録」市民と「自由」の行方(NHK)、しくじり先生俺みたいになるな!!「ガセネタに惑わされないための授業」(テレビ朝日)、サイエンスZERO「羽毛のある類人猿」カラス 驚異の知力に迫る(NHK)、「光秀のスマホ」(NHK)の4本を選んだ。
・10月31日にZoomにて上期選

考会を開催し、上期入賞作品7本を決定した(詳細は「GALAC」1月号に掲載しているので省略する。他委員会も同様)。

(ラジオ部門) 五井委員長

・11月17日にZoomにて定例会を開催した。自転車、サイクリングなどに関わる番組をテーマに、「サイクリスト・ステーション ツアー・オブ・ジャパン」(エフエム東京)、「ミラクル・サイクル・ライフ」(TBSラジオ)、「パンサー向井のチャリで30分」(ニッポン放送)、「サイクリングラジオ」(FMいちのみや)を聴取し議論を交わした。

・10月19日、27日にリアルにて上期選考会を開催し、入賞候補作品8本を決定した。

(CM部門) 服部委員長

・11月19日にリアルにて定例会を開催し、32作品のCMを視聴した。日清食品 チキンラーメン、キリンビール、山形JAなどの食品・飲料系CMが注目を浴びた。

・10月23日にリアルにて上期選考会を開催し、入賞候補作品13本を決定した。

〈報道活動部門〉 茅原委員長

・ 委員会報告は特になし。

・ 10月26日にZoomにて上期選考会を開催し、入賞候補作品3本を決定した。

◇企画事業委員会 丹羽委員長

・ 11月25日18時～20時に、Zoomウェビナーを利用した放懇初のオンラインセミナー【放送批評懇談会セミナー2020「科学の伝え方」コロナ時代に求められる、知識と思考法】を開催し、盛況のうちに終了した。

・ 100人限定・無料で募集し、23日段階で満席となり、当日は約70名程度が参加した。申込システムには「PassMarket」を利用した。

・ 今回初めて「GALAC」特集との連動企画で開催したことや、放懇がオンラインセミナーのスキル、ノウハウを獲得することができたなど良い試みとなった。

◇広報委員会 滝野委員長

・ 11月5日にZoomにて委員会を開催した。

・ 11月4日にYouTubeチャンネルに「第57回ギャラクシー賞受賞者インタビュー（7名）」、HPに贈賞

式レポート（「GALAC」10月号掲載）を公開した。

・ 11月19日、HP「オリジナルコンテンツ」に【座談会「2020年秋ドラマを語る」】を掲載した。

・ 11月6日に放送批評懇談会公式ツイッター（@houkon_jp）を開設した。運営は事務局が行う。従来の「マイベストTV君」(@mybesttv)は、マイベストTV賞に特化した形で継続して委員が運営する。

2. その他

①放懇60周年について 藤田真文60周年担当理事

・ 11月20日にZoomにてギャラクシー賞検討プロジェクト第1回を開催した。ネット対応や、各部門の賞の種類、本数の検討などが議論にあった。

・ 現委員長や経験者らにヒアリングを行い、答申をまとめる。2月理事会で報告予定。

②正会員退会の件

金廷恩（キム・ジョンウン）さん

③「ヤング映像クリエイターを励ます賞」後援の件

主催団体の日本映像事業協会から後援の申請があり、理事会でこれを承

認した。

④その他

事務局より、HP「会員情報」の正会員の掲載内容を各自アップデートしてもらおうよう理事会に呼びかけた。情報は事務局にメールで連絡してほしい。

【出席】音好宏、川喜田尚、藤田真文、出田幸彦、丹羽美之、鈴木健司、古川柳子、五井千鶴子、服部千恵子、茅原良平、滝野俊一、市村元、奥律哉、国枝智樹、汲田亜紀子、小林毅、鈴木嘉一、長井展光、松山珠美、水島宏明、中島好登

会議記録

「11月」……………

17日 (選奨) ラジオ定例部会

19日 (選奨) CM定例部会
出版編集委員会

24日 (選奨) テレビ月評会

26日 理事会

飛耳長目を持つて

三谷実可

私の所属する、全日本テレビ番組製作社連盟、略称ATPは、製作会社123社（7月時点）が加盟する。

日々、放送局と共に制作環境をより良くするための話し合いを行い、学生の就活支援イベントも開催するオールマイティな団体だ。加えて、ドキュメンタリー番組の海外展開支援事業Tokyo Docsにも、ATP入局時より携わり、中堅プロデューサーと一緒に、番組の芽を持つ製作者と国内外放送局などとの出会いをサポートしている。

毎日、製作者の熱意に動かされ、放送が持つ力を目の当たりにし、学生の若い発想に驚かされて……。そんなこんなで10年目を迎えた2020年の幕開けに、コロナクライシス。わたしに何ができるか。焦ってばかりの日が過ぎていくなか、ご縁があり入会することになった。

ここで多くの情報・人・価値観と出会った経験が、製作現場に少しでも還元できますように。今までの出会いに感謝しつつ、これからの新たなご縁に心が躍る。

新入正会員自己紹介

放送と広告のイロハから

村田玲子

視聴率調査会社のビデオリサーチで、調査や営業、生活者研究を経て、今年4月より広報担当をしています。入社後約20年来、データを通じ生活者とメディアの関係を見てきた一方、自分の見ていることは限定的で、何かを語り得ることができたのかという欠落感をどこか感じていました。この度入会機会をいただいたことで、各方面に造詣の深いメンバーの方々と知り合い、データや会社から離れたところでもいろいろなお話をさせてもらいながら、視界を広げていけたらと思います。

気が付けば、スマホ一つで見たい番組も映画も、読みたい本も漫画も即時入手できる夢のような時代。わ我が家のリビングを見渡すと、小学生の子はテレビで有料配信アニメを、保育園児はタブレットで動画撮影を、夫はPCで海外ニュースを見ています。

こんな時代に放送や広告はどこに向かうのか。皆様と自由に批評と懇談を楽しみながら思索を巡らせたいと思います。

新入正会員自己紹介

CM業界36年目の節目に

山下治城

CM・映像制作業界で仕事し今年で36年目になります。1985年の入社当時は、コピーライターブーム。CMが文化の担い手であるという気概をみんなが持ち、面白いものをつくっていくという空気感で満ち溢れていました。『広告批評』という雑誌に「ちゃんとしたものを作れよ」と背中を押されながら、ちゃんと見ている方の記憶に残るものを作ることに全力をかけておりました。

インターネット社会になって方法や技術が変わっても表現者のその想いは変わらないと思います。

CMにとって、決断している時代ではありません。しかし、その中でもキラリと光るアイデアや批評性を持ったCMに光をあてたい。この仕事に携わる人たちが、あるいは、CMを見てくれた人たちが少しでも希望が持てるような、そんな表現を探し世の中に発信していく勇気を持ちたいと思います。

子どもの頃、学校でCMソングを大声で唄っていたくらいCMが好きだった私のささやかな願いです。



祝 放送批評懇談会「科学の伝え方」盛況終了



放送批評懇談会セミナー2020
科学の伝え方
～コロナ時代に求められる、知識と思考法～
■GALAC2020年11月号運動企画■

<p>開催趣旨</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延により、社会に大きな影響を与えている。科学の伝え方について、科学的知識に基づいた正しい情報発信が求められる時代は到来している。しかし、社会に大きな影響を与えている科学の伝え方の問題は、大きな責任を負っています。テレビ・ラジオは科学を伝えるべきか。今、放送人には特別な使命として「科学する力」が問われています。</p> <p>今回のセミナーでは、科学の中でも関心が高い「感染症の発生」について、NHKのディレクターとして数々の特番番組に取り組み、感染症の発生と伝播のメカニズムを解説する「感染症の発生と伝播」のディレクターとしての経験に基づいて、科学的知識に基づいた正しい情報発信の重要性を、第一人者としての経験に基づいて解説し、科学的知識を伝えるための考え方について、現在の状況を交えて講義します。取材において、科学的知識に基づいた情報発信の大切さについて、科学的知識が社会にもたらす影響の分析まで、現場の制作者も経験のするディレクターならではの経験が満載です。</p>	<p>プログラム</p> <p>【講演】 科学放送の新機軸 ～正しく伝えるは、正しいか～ 市川 衛 NHK制作部チーフ・ディレクター メディアカルジャーナリズム監修者代表</p> <p>【質疑応答】 セミナー参加のみなさま ※参加費のみなさまからの質問に応じて ご対応させていただきます！ モデレーター： 新美野子 （放送局ディレクター、放送批評懇談会）</p>
--	---

日時：2020年11月25日（水）18:00～20:00
形式：オンラインセミナー（Zoomウェビナー）

定員 100名
参加費 無料
申込先 PassMarket
申込締切 11月20日（金）お申し込みは締め切られています。

～いただいた感想～

- ・セミナー開催ありがとうございました。現場の方ならではの葛藤と決断を垣間見ることができ、クイズ形式を取り入れたのもユニークで、自身の認識の浅はかさも知ることができました。
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました。東京から遠く離れた場所からでも、会社を休むことなくセミナーに参加できたことはとても画期的だと思っています。またの開催を楽しみにしております。
- ・市川さんが明るくて気さく、とてもお話が上手で引き込まれました。進行役の新美さんもこれまた自然体で、好感度抜群でした。



放送批評懇談会が開催するウェビナー第1弾！ 放送批評懇談会セミナー2020「科学の伝え方～コロナ時代に求められる、知識と思考法～」を11月25日に開催。初の試みとなった今回は、正会員、維持会員など関係者対象のセミナーとして実施しました。

大好評をいただいた今回のウェビナー。第2弾、第3弾にご期待ください！



放送批評懇談会公式 ツイッター開設しました!!

アカウント名：
放送批評懇談会
@houkon_jp
ぜひフォローお願いします!!

公式ホームページの正会員ページ、情報更新にご協力ください！

会の公式ホームページには、正会員一覧と会員情報を掲載中です。情報が過去のものとなっていってしまう方は、更新の手続きをお願いいたします。事務局あて、変更内容をメールでお知らせください。

ホームページ正会員ページ <https://houkon.jp/members1/>
回答先アドレス kondankai@houkon.jp